

木造建築の新たな可能性

シェルター常務 安達 広幸氏



「燃えない木」さらに進化

「京都木材会館」プロジェクトで、木構造設計と構造部材の供給を担当したシェルター。同社が開発した木質耐火部材「COOL WOOD」が、2時間耐火部材(柱)が初めて国内採用され、木造建築の新たな展開が注目されることになった。クールウッドは、木造の耐火構造の概念を生み出し、特許を取得しようとの考え方を持つ。

「京都木材会館」プロジェクトで、木構造設計と構造部材の供給を担当したシェルター。同社が開発した木質耐火部材「COOL WOOD」が、2時間耐火部材(柱)が初めて国内採用され、木造建築の新たな展開が注目されることになった。クールウッドは、木造の耐火構造の概念を生み出し、特許を取得しようとの考え方を持つ。

「京都木材会館」プロジェクトで、木構造設計と構造部材の供給を担当したシェルター。同社が開発した木質耐火部材「COOL WOOD」が、2時間耐火部材(柱)が初めて国内採用され、木造建築の新たな展開が注目されることになった。クールウッドは、木造の耐火構造の概念を生み出し、特許を取得しようとの考え方を持つ。

「京都木材会館」プロジェクトで、木構造設計と構造部材の供給を担当したシェルター。同社が開発した木質耐火部材「COOL WOOD」が、2時間耐火部材(柱)が初めて国内採用され、木造建築の新たな展開が注目されることになった。クールウッドは、木造の耐火構造の概念を生み出し、特許を取得しようとの考え方を持つ。

「京都木材会館」プロジェクトで、木構造設計と構造部材の供給を担当したシェルター。同社が開発した木質耐火部材「COOL WOOD」が、2時間耐火部材(柱)が初めて国内採用され、木造建築の新たな展開が注目されることになった。クールウッドは、木造の耐火構造の概念を生み出し、特許を取得しようとの考え方を持つ。

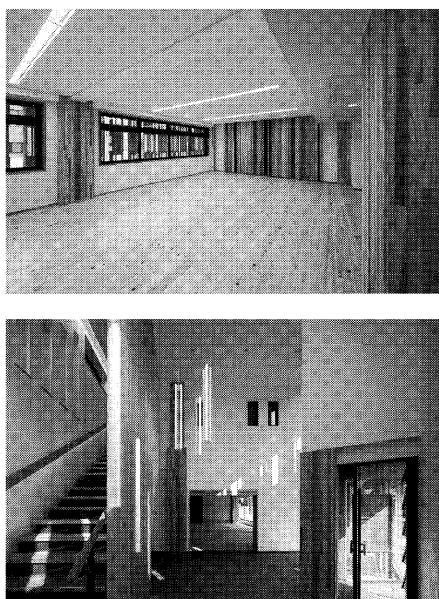
「京都木材会館」プロジェクトで、木構造設計と構造部材の供給を担当したシェルター。同社が開発した木質耐火部材「COOL WOOD」が、2時間耐火部材(柱)が初めて国内採用され、木造建築の新たな展開が注目されることになった。クールウッドは、木造の耐火構造の概念を生み出し、特許を取得しようとの考え方を持つ。

interview

京都初4階建て木造ビル 「京都木材会館」完成！！



- ◆日本初の木現し2時間耐火部材“COOL WOOD”採用
- ◆構造材に京都府産材を100%使用した純木造4階建てビル
- ◆風と光をゆるやかに取り入れる杉の無垢板を組み上げたルーバー



事業者：京都木材協同組合
設計：ゆう建築設計事務所
+砂山太一（建築家・プログラマ）
構造：シェルター（木構造）
福井建築設計事務所（基礎、鉄骨階段）
設備：幹設備設計事務所
工：吉村建設工業
竹内工務店（木工事）

都市に森をつくる。
木造建築を通して、都市をつくりています。建築・都市計画を通して、環境及び環境問題に関する調査・研究・情報の提供を行っています。

2時間耐火技術

シェルターが開発

木質耐火部材「クールウッド」

14階建てビルも可能



2時間木質耐火部材を採用した
「京都木材会館」



京都木材会館に採用された
2時間耐火部材(柱)。3月8日
日の完成見学会にて

全国初となるシェルター開発の2時間不燃耐火部材クールウッドを採用了した。今月JR桑駅近くに完成した木造4階建ての「京都木材会館」(京都)市中京区)。京都の地域産木材を活用したプロジェクトで、今月JR桑駅近くに完成した木造4階建ての町並みを意識した木造に

木造建築の可能性が広がりつつある。木造建築のシェルター(山形市、木村義社長、0233・647・5000)が開発した木質耐火部材「COOL WOOD(クールウッド)」は、2014年に2時間耐火の国土交通大臣認定を得た。今月、京都市内に、2時間耐火のクールウッドを国内で初めて採用了した木造4階建てのビルが誕生した。木造耐火技術の進化により、都市に木造の建築物が姿をみせつつある。

地域の木材活用 川上→川下をつなぐ

クールウッドの構造はいたつてシンプルなもの。核となる構造部材を石こうボードで囲み、その外側を木で覆った、いわば石こうボードのサンドイッチ構造だ。国産木材を有效地に活用

こうボードと杉集成材の部材となっている。「シェルターは川上から川下までをつなげるコードイネーター役を担つている。一段と木造のイメージを引き上げていきたい」。

京都木材会館の完成見学会を主催するように考へた開発コンセプトにより、杉をはじめセブトにより、杉をはじめヒバキ、カラマツなど各地の講演で安達広幸常務はこの木材を使えるようう強調した。2時間耐火技術を国内で初めて採用了した。京都木材会館にしており。京都木材会館は、木造耐火建築の市場は今後も広がる方向にある。シェルターを含め木造耐火技術は進化を遂げている。木造耐火建築を受け入れる市場環境は明るい方向にある。今後は公共建築物のほか民間建築物や非住居建築物への普及が注目される。

木質耐火部材“COOL WOOD®”

木質耐火部材“COOL WOOD”(クールウッド)は、核となる木材を石こうボードで囲み、外側をさらに木材で覆った特許製品です。低コストで加工しやすいことに加え、木の温もりを活かした建物に仕上げることができます。各地の地域産木材で製作することができます。京都木材会館では京都府産の桧材、杉材を使用しています。

【三重構造】

- ①核となる「構造部材」には木材を使用
- ②中間部の「燃え止まり層」には石こうボードを使用
- ③「表面材」には地域ごとに様々な木材を使用



日本初！木造2時間耐火の国土交通大臣認定

Shelter®

木造都市のバイオニア 株式会社 シェルター
本社 / 山形市松栄1-5-13 tel.023-647-5200
KES営業本部 / 港区芝5-13-15 茅三田ビル tel.03-5418-8800

都市に森をつくる。
木造建築を通して、都市をつくりています。建築・都市計画を通して、環境及び環境問題に関する調査・研究・情報の提供を行っています。

www.shelter.jp